

# 平成29年度 服務事故防止研修 年間指導計画

学校名【立川市立幸小学校】

コンプライアンスリーダー【指導教諭 小泉 友】

## ☆服務事故再発防止月

月	服務課題（重点）	どのような資質・能力 を身に付けるか	研修内容 （どのようなことを）	研修方法 （どのような方法で）	評価
☆4	遵法精神の向上	公務員としての遵法精神の理解と心構え 服務の厳正	年度当初に起きやすい個人情報についての確認（個人情報の確認、文書の保管、廃棄、個人情報についての内規の確認、会計）通勤手当の違法請求	職員会議冒頭での校長講話。服務事故防止研修の年間計画の確認。コンプライアンスリーダー紹介と宣言。年度当初の服務事故防止について討議。	
5	人権尊重、いじめ防止	配慮児童の確認といじめの未然防止。適切な児童支援について考える。	幸小いじめ防止基本方針・いじめの定義の確認といじめが起きた際の学校体制について理解する。また、児童理解のための特別支援教育についての研修。	特別支援教育コーディネーターによる研修会を行う。配慮の必要な児童への支援方法や児童理解について学ぶ。	
6	交通事故防止 勤務管理の適正化 （長期休業中の勤務）	天候等や悪条件の中の運転の危険性や事故を起こしたときの処分について	勤務外に起きる事故の例や事故を起こした後の処分など運転する際の注意点を周知し、理解する。	過去に起こりやすい事故について事例を挙げ、交通事故を起こさないための方策を考え、討議する。副校長が講師となる。	
☆7 8	都教委のテーマ	都教委の指示通り	都教委のテーマの資料を使って、研修会を実施。校長が講師になる	ワークショップ、DVD視聴、ディスカッションを行い情報共有する。テーマについて服務事故防止についてのスローガンを作成する。	
☆9	体罰、不適切な指導	児童理解に努め、児童への合理的配慮を踏まえた指導	体罰防止研修用DVDを視聴する。運動会で起きやすい体罰、不適切な言動、アンガーマネジメント	運動会、学校行事等で起きやすい、体罰、不適切な言動をどのようにしたら避けられるかを話し合い、まとめる。講評は副校長が小行う	
10	心と体のメンタルヘルス	日頃から自身のメンタルヘルスを心がける	教員一人一人がメンタルヘルスを考え、勤務できるようにする。ストレス解消についても意見交換をする。健全な職場作りについて意識をもつ	メンタルハンドブックを活用し、具体的な事例をあげ、一人一人の心身の状況が把握できるようにする。また、校内の教員の相談体制作りを行う。	
11	人権尊重、いじめ防止	児童理解の仕方。児童の課題行動の意味づけと支援方法を獲得	いじめアンケート調査、児童アンケート実施 人権教育プログラム活用、生活指導主任が進行を行う。校長が指導講評を行う。	アンケート結果からいじめ防止、いじめ対策を考え、対応を話し合う。講師は生活指導主任が行う	
☆12	都教委のテーマ	都教委の指示通り	12月に都教委から資料等を活用した研修を行う。校長が研修会講師として講話を行う。指導講評は副校長が行う。	ワークショップ、DVD視聴、ディスカッションを行い情報共有する。テーマについて服務事故防止についてのスローガンを作成する。	
☆1	わいせつ、セクハラ防止 飲酒による事故	セクシャルハラスメント・わいせつ事故防止について	これまでの事例をもとにさまざまなケースを紹介し、危機管理をもたせ、再認識させる。校長が研修の講師となる。	事例をもとに参加型研修を行う。さまざまに起きた事例について自分で考え、対応策を考える。また、人間関係や信頼関係を築けるようにする。	
2	私費会計事故	年度末における出納関連の事故防止	1年間の服務事故例を参考に、服務防止のための具体策が実践できたか自己評価を行い、話し合いをする。コンプライアンスリーダーから提案。	各学年で1年間の出納状況を確認。保護者へ会計報告を行う。会計簿の確認をする。会計事故事例を小グループで検討し、発表をする。	
☆3	公金、公物、個人情報等 管理と公文書の取り扱い。	通知表、指導要録、成績書類の適切な取り扱い	1年間を振り返り、研修の成果と課題を自覚し、来年度の自己目標を考える。年度末、年度初めに起こりやすい服務事故について校長が講話を行う。	書類や個人情報の保管と廃棄についてコンプライアンスリーダーから提案。実情を調査し、課題について討議し、発表を行う。	

※服務事故再発防止月間を4月、7月、9月、12月、1月、3月に設定する。